

東京都中小企業の課題解決型デザインコンペティション

## 2023年度「東京ビジネスデザインアワード(TBDA)」企業テーマ11件を発表 デザイナーからのテーマに対するデザイン提案を募集開始

募集期間は9月5日(火)～10月30日(月)、デザイナー向け説明会を9月21日(木)に開催



東京都内の中小企業活性化策として東京都が主催し、公益財団法人日本デザイン振興会(所在地:東京都港区)が企画・運営を行う「東京ビジネスデザインアワード(以下、TBDA)」では、本年度の参加企業の「テーマ」として選出された11件を発表し、デザイナーからの提案応募受け付けを開始します。

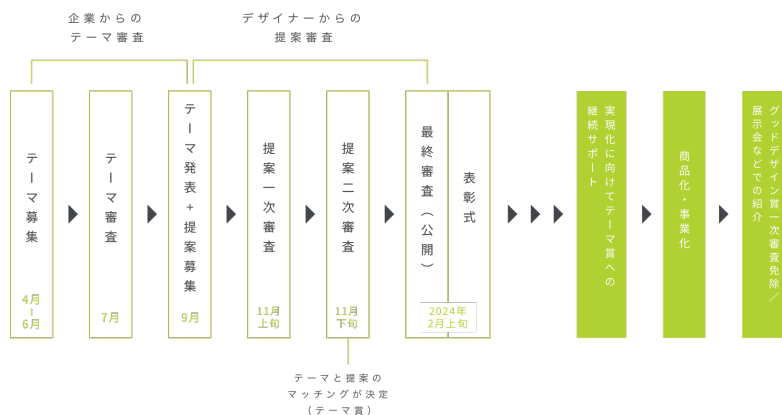
今年で12回目となるTBDAは、都内中小企業が持つ独自の技術や素材を「テーマ」とし、このテーマを活用した新規用途開発やビジネス全体のデザイン提案をデザイナーから幅広く募る、企業参加型のデザイン・事業提案コンペティションです。

2012年の開始以来、企業テーマとして採用された中小企業の「技術」「素材」は110件以上、これに対するデザイナーからの提案数は延べ1,300件以上となっています。これまでに国内外で60万個以上を売り上げるようなヒット商品やグッドデザイン賞、日本文具大賞受賞製品などが20件以上誕生し現在も複数のプロジェクトが進行しています。

2023年度は全11件がテーマとして選出され、企業が保有する独自の素材や技術に加え、事業継承や市場の開拓、コミュニケーションデザインの刷新など各企業の抱える課題に対し、デザイナーとのマッチングを行っていきます。

### <2023年度全体スケジュール>

- ・テーマ募集: 終了
- ・テーマ発表・デザイン提案募集:  
9月～10月
- ・マッチング決定: 11月
- ・テーマ賞発表: 2024年1月
- ・最優秀賞・優秀賞発表/表彰式:  
2024年2月



デザイン提案募集期間は9月5日(火)から10月30日(月)14:00までです。9月21日(木)には、デザイナー向けに提案募集企業と直接質疑応答をしたりサンプル展示などを見られるコミュニケーションデーも実施します。

企業の「テーマ」とデザイナーの提案マッチング成立後は、実現化に向けての協働がスタート。プレゼンテーション方式の最終審査を経て、2024年2月に最優秀賞・優秀賞を決定します。

# 1.「2023年度 東京ビジネスデザインアワード」テーマ概要(全11件)

各テーマの詳細は、公式ウェブサイトをご覧ください。 <https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

## 1.細い繊維径の不織布 タピルス株式会社(港区)



メルトブロー不織布は溶けた(メルト)樹脂をネットに吹き付けて(ブロー)、糸を作る工程を経ることなく不織布を製造する方法。この製法は他の不織布製法と比較して細い繊維径の不織布が得られること、また、接着剤などを使用しないことが特徴。不織布の繊維径が細いと小さな粒子を捕捉することができ、接着剤を使用していないのでフィルターや衛生材料等に使われている。

## 2.デジタル印刷を活用した段ボール資材への加工技術 株式会社志村製函所(板橋区)



段ボールのシート製造→製函→配送までワンストップで行い、罫線入れ、パンチ、糊張りはもちろん、打ち抜き機や、サンプルカッターなども所持、それを扱う製造部門の熟練の技術により様々な加工も可能。デジタル印刷機を導入し、今まで段ボール印刷では再現不可能とされていた色彩の表現が可能になり、より鮮やかで深みのある印刷が可能になる。デジタル技術と創業から守り続けた職人の段ボール加工技術を組み合わせ、段ボールの新たな可能性を作り出す提案を期待している。

## 3.試作から最終製品までを1台で任せられるハイエンド3Dプリンター 株式会社アспект(稲城市)



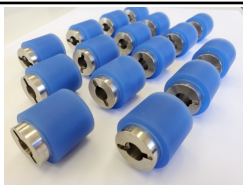
PBF(粉末床溶融結合技術)方式のハイエンド3Dプリンターメーカー。3Dプリンターの中でPBFは生産性が高く、既存技術では成し得ない複雑な形状を再現することができる。加えてモデリングの変更も最小で済む。国内のデザイナーで3Dプリンター、特にこのPBFを用いている例はほぼ存在しないため、ファーストベンチンとしてたくさんのアイデアを期待している。

## 4.手作業で美しく溶接する銀ロウ付け技術および金属加工 株式会社佐藤製作所(目黒区)



創業66年、金属加工+銀ロウ付けを用いて主に医療機器や通信関連部品を製造。他社では対応できないような、ごく小部品・大型部品・精密部品・特殊な材料などの高難易度のロウ付けも対応。技術において現在も研究・実験に取り組み、社員も半数が20代で、新しいことに積極的にチャレンジしている企業。

## 5.独自のゴム配合設計と幅広い加工技術 株式会社江北ゴム製作所(足立区)



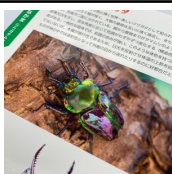
ゴム、ポリマーのさまざまな特徴を活かし、耐熱性や耐候性、衝撃吸収性など多くの機能を独自の配合技術で付与することが可能。幅広い種類、加工技術を有し加工方法の提案、材料開発、金型の内製などスピーディーさも強み。当該の材料に限定せず、広くゴムという弾性体を通して商品開発に挑戦したいという意欲を持つ企業。

## 6.職人技で古美色を再現する「硫化燻し加工技術」 株式会社富士産業(葛飾区)



エイジング加工は、「硫化燻し」または「古美色」といわれるもので、金属素材を用いて経年変化を人工的に促進させる技術。日本では神社仏閣などの建築用鋼材の着色に広く利用されている。近年では加工ができる職人が少なく、歴史ある技術そのもの、魅力を広めるために次世代に伝えていくアイデアを求めている。

## 7.輝きと手触りを自由自在に表現できる「デジタル特殊印刷技術」 株式会社研文社(新宿区)



デジタル特殊印刷技術は、RGBに迫る色域をもつデジタル印刷機と、箔やニスを自在に操れるデジタル加飾機のパフォーマンスを最大限に引き出す専門のスタッフと連携することによりデザインを形にするためのきめ細やかなサポートが強み。新たなビジネスモデルの構築に繋がるような取り組みに挑戦していきたいという意欲を持つ企業。

## 8.メイド・イン・TOKYOの職人技「ソール製造加工・貼り合わせ技術」 株式会社オノザキ(台東区)



1952年創業。靴材料総合商社としてこれまで一貫して靴業界のものづくりを実践。靴を取り巻く高い加工技術をより多くの人に知ってもらうための、メイド・イン・東京の商品、業界の枠を超えて、靴以外の何かでこの技術を活かすなど、自由な提案に期待を寄せている。

## 9.ワイヤーカット放電加工による微細・精密金属加工技術 有限会社オクギ製作所(東久留米市)



ワイヤーカット放電加工に特化した企業。本加工技術は水の中で加工するのが一般的だが、同社は油の中で加工を行うタイプを保有しており、より細いワイヤー線を使って微細な加工をすることが可能。微細な加工を正確に行うためには、正確に測る・見る技術が必要であり、測定機器・観測機器の環境も揃っている。

## 10.社会人を対象としたキャリア支援ノウハウの活用 Cross-Boundary Project (清瀬市)

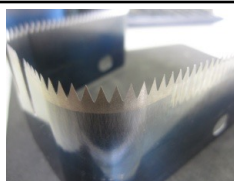


人生100年、  
誰もがキャリアを考える時代に

長寿化がもたらす働き方や生き方の変化、地域とのつながりをつくるという社会全体の課題がテーマ。

キャリアデザインをしやすくなる仕組みやツールなどをデザインを用いて解決していく提案やアイデアに期待している。

## 11.チタンやシリコンの電極を使い対象物に放電処理によるコーティングをする被膜形成技術 アートビーム有限会社(八王子市)



放電表面処理による被膜形成技術は、加工油の中で処理を行い、電極と対象物の間に放電を発生させ、溶けた電極が溶けた対象物に移行し被膜を形成する技術。試作品に特化した精密部品の製造を30年以上続け、経験、技術を用いて人の手で高精度、高品質な製品を造り上げている企業。

## 2. 2023年度「東京ビジネスデザインアワード」デザイン提案募集概要

- デザイン提案募集期間:2023年9月5日(火)～ 10月30日(月)14:00まで
- 応募資格:中小企業との協業に意欲を持つ、国内在住の個人またはグループ
- 応募費用:無料 ※ただし、通信費や提案の制作に伴う実費等は応募者負担
- 賞・賞金:最優秀賞(1点) 賞金100万円(企業、デザイナーにそれぞれ50万円)  
優秀賞(2点) 賞金20万円(企業、デザイナーにそれぞれ10万円)  
テーマ賞(1テーマにつき1点) ※審査の結果、該当なしとなる場合あり
- 応募方法:「東京ビジネスデザインアワード」サイトより、ご応募ください  
<https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>
- 主催:東京都/企画・運営:公益財団法人日本デザイン振興会

### <東京ビジネスデザインアワードの特徴>

- ・製品デザインにとどまらない、経営層との協働機会の提供  
商品単体ではなく販売やサービス、コミュニケーションプランをも含めた提案により、経営層とタッグを組んで協業する機会を提供。経営資源の活用やブランド構築の経験、経営計画の検討など包括的にビジネスデザインに取り組むことができる。

・専門家、事務局によるサポート体制

各分野の専門家で構成される審査委員会によるアドバイス(商品開発、知財戦略、デザイン契約、販路開拓等)を通じ、アワード終了後も商品化、事業化に向けた支援および相談機会の提供、サポートを随時受けられる。

・商品化、事業化への豊富な実績

これまでにマッチングした企業とデザイナーによる提案実現事例は20件を数え、国内外で60万件以上を売り上げる商品も誕生。

<デザイナー向け 応募説明資料公開・説明会の実施について>

応募を検討するデザイナーを対象に、順次応募方法の説明、FAQ集、各テーマ企業によるプレゼンテーション動画を公式ウェブサイトにて公開します。また、9月21日(木)には、各テーマ企業の担当者との質疑応答やサンプル展示など、直接コミュニケーションが取れる「コミュニケーションデー」を開催。事務局からの応募説明や過去テーマ賞受賞者とのトークイベントも開催。(定員:50人・先着順)

■デザイナー向け・テーマ企業とのコミュニケーションデー

日時: 9月21日(木) 17:30 - 19:30

場所: 東京ミッドタウン・カンファレンス(東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー4階)

詳細・申し込み: [www.tokyo-design.ne.jp/award.html](http://www.tokyo-design.ne.jp/award.html)

<審査委員会>

企業からのテーマ、デザイナーからの提案について審査を行うとともに、両者の協業に向けて専門的な視点からアドバイスを行います。

2023年度 審査委員



審査委員長  
山田 遊

バイヤー  
株式会社  
メソッド  
代表取締役



秋山 かおり

プロダクト  
デザイナー  
STUDIO  
BYCOLOR



谷口 靖太郎

デザイン  
エンジニア/  
ディレクター  
Takram



日高 一樹

特定訴訟代理  
人・弁理士 /  
デザイン  
ストラテジスト  
日高国際特許  
事務所所長



坊垣 佳奈

株式会社  
マクアケ  
共同創業者  
/ 取締役



宮崎 晃吉

建築家  
株式会社  
HAGISO  
代表取締役